

九歴たより

No.38
2013.10



特別展 「戦国武将の誇りと祈り—九州の覇権のゆくえ—」 開催!!

九州の覇権をめぐるしのぎを削った戦国武将たち。彼らが残したものは、戦乱の爪痕ばかりではありません。対外交流による富、南蛮文化や京文化、そして、受け継がれる精神と信仰。本展では、九州ゆかりの戦国武将の遺品を通じて、その盛衰をたどりながら、彼らが精神的な支えや信仰の対象としたものとは何だったのか、その「誇り」と「祈り」の世界に迫ります。

大内義隆・毛利元就・大友宗麟・島津義弘・龍造寺隆信、そして豊臣秀吉。彼らが心の支えにしたものとは何だったのか。国宝・重要文化財を多数含む、九州ゆかりの戦国武将の遺品が一堂に集います。

展覧会のみどころは、勢揃いした戦国武将の肖像、圧巻の戦国大名文書、神仏に捧げられし宝物、戦国三都市の繁栄を物語る出土品など、多彩です。

会期 平成25年9月28日(土)～11月10日(日) **場所** 九州歴史資料館第1展示室(要観覧料)

お知らせ 特別展「戦国武将の誇りと祈り—九州の覇権のゆくえ—」は通常料金で観覧いただけます。
10月20日(日)・11月3日(日・祝)には記念講演会も開催します(要参加申込み)

第16回企画展

いろいろな目で見てもみたら…

みんなが描いた九歴の收藏品

昔の人々が生活のために使用した土器・石器、古代の役所に葺かれた鬼瓦、平安時代に造られ、各地のお寺に伝わった仏像…。九州歴史資料館の展示室には、さまざまな收藏品があります。これらの文化財を、小学生をはじめとする子どもたちや、絵手紙を描かれる方々など約100名に好きなものを好きなように描いてもらいました!!

ふだんは学芸員が書いた解説をたよりに文化財を鑑賞しますが、今回は想像豊かな世界を描き出したこれらの絵が解説がわりです。実物資料とみなさんが描いた絵画作品を見比べ、文化財が秘めた豊かな世界を思い描いてみませんか？

主な展示資料 異形縄文土器、鬼瓦、盾持武人埴輪など実物資料約30点ほか、仏像等の写真パネルを絵画作品と共に展示します。

会期 平成25年10月1日(火)～11月17日(日)

会場 第2・4展示室 (観覧無料)



国指定特別史跡水城跡発掘調査100周年記念企画展

水城・大野城・基肄城1350年事業

第17回企画展

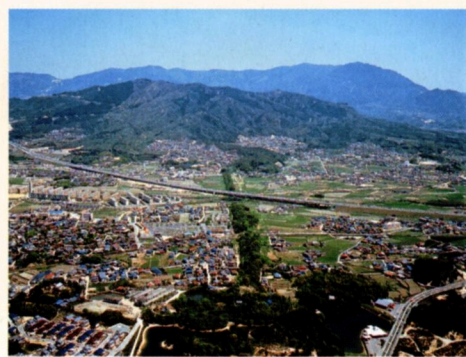
水城・大野城調査研究事始め

平成25年(2013)は特別史跡水城跡の発掘調査が最初に行われてから100年の節目の年にあたります。これを記念し、本展では水城跡および大野城跡の発掘調査成果と調査研究の歩みを紹介し、100年の調査研究の歴史を振り返ります。

主な展示資料 水城跡出土資料(「水城」銘墨書土器・木槌カスガイ・鬼瓦)
大野城跡出土資料(門扉軸受金具・「孚石部」銘刻書木柱・鬼瓦)
調査研究に関する資料(写真パネル展示)

会期 平成25年11月19日(火)～平成26年1月13日(月・祝)

会場 第2展示室 (観覧無料)



水城跡と大野城跡



関連講演会のお知らせ

長年にわたり、水城・大野城など、大宰府史跡の調査研究に携わってこられた小田富士雄さん(福岡大学名誉教授)が、水城・大野城の調査のあゆみを振り返ります。

日時: 平成25年12月7日(土)

13:30～15:30 (要申込み)

筑前大宰府水城の一部切掘図 (パネル展示)
(東京大学日本史学研究所蔵)

五卿と志士 — 維新前夜の太宰府 —

今からおよそ150年前、長らく政治の舞台から遠ざかり、学問・文化の聖地として歩んできた太宰府の地は、一転して幕末政局の表舞台に登場することになります。その主役は、後の太政大臣三条実美をはじめとする「五卿」^{ごきょう}。文久3年（1863）、八月十八日の政変により京の朝廷を追われ、長州藩へと逃れた攘夷派の公家です。その後、元治2年（慶応元・1865）に太宰府・延寿王院へと移り、王政復古を受けて帰京するまでのおよそ3年間を、太宰府で過ごしました。その間、彼らのもとには、坂本竜馬や西郷隆盛など幕末の志士たちが訪れて情報を交換し、のちに太宰府は「明治維新の策源地」とも称されています。

本展では、太宰府天満宮や地域に残された「五卿」、そして幕末の「尊皇志士」ゆかりの文化財から、明治維新前夜の太宰府について紹介します。また、九州初公開となる東京国立博物館所蔵の西郷隆盛・大久保利通・木戸孝允「維新三傑」による書の優品が特別出品されます。



太宰府・延寿王院

会期

平成26年1月5日(日)～2月16日(日)

会場

第1展示室（要観覧料）

主催

九州歴史資料館・公益財団法人太宰府顕彰会

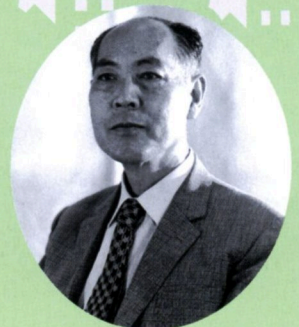


西郷隆盛書 額「敬天愛人」（東京国立博物館所蔵） Image:TNM Image Archives

太田静六が見た福岡の建造物 ～太田静六資料展～

太田静六氏（1911～2009）は、昭和期に九州大学工学部などで活躍した建築史学の研究者です。平安時代の寝殿造や西洋の古城の研究で有名ですが、福岡県内においても様々な建造物の調査を行い、今では現存しない旧福岡県庁舎や二代目博多駅舎をはじめ、寺院、教会、橋、民家など多くの建造物の図面や写真を残しました。一方で、大宰府史跡の発掘調査にも古くから深く携わり、自身も建築史学の立場から太宰府市横岳崇福寺跡の発掘調査などを行いました。

今回は氏が参加された太宰府市の横岳崇福寺跡発掘調査時の出土遺物や、福岡県内各地の建造物の図面や写真を展示し、太田静六が見た福岡の建造物に迫ります。

太田静六氏
(九州大学工学部建築学科提供)

会期 平成26年1月15日(水)～4月6日(日)

会場 第1展示室（要観覧料）

関連講座（第12回九歴講座）のお知らせ

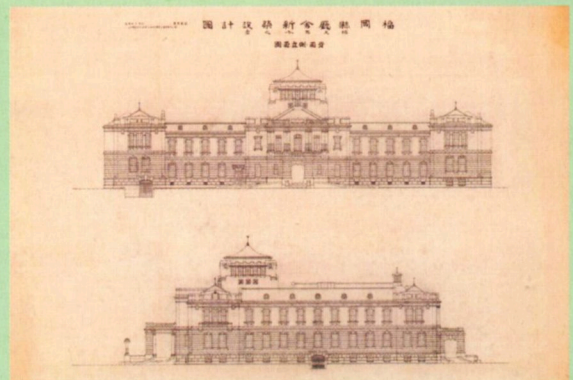
演題：八幡造論争史

一三氏の主張 太田静六・林一馬・土田充義—

講師：土田充義さん

（鹿児島大学名誉教授・NPO法人文化財保存工学研究室理事長）

日時：平成26年3月8日(土) 13:30～15:30（要申込み）



(旧) 福岡県庁舎新築設計図

九州歴史資料館・分館行事予定

2013 2014
10月～3月

| 九州歴史資料館 | | 行事・事業予定 |
|---------------|---|---------|
| 展 示 | 常 設 展：「歴史(とき)の宝石箱」【～9月16日(月・祝)、11月23日(土・祝)～12月27日(金)、1月5日(日)～】(第1展示室) 特 別 展：9月28日(土)～11月10日(日)九州歴史資料館開館40周年記念・移転開館3周年記念 特別展「戦国武将の誇りと祈り—九州の覇権のゆくえ—」(第1展示室) 企 画 展：10月1日(火)～11月17日(日) 第16回企画展「いろいろな目で見てみたら…みんなが描いた九歴の収蔵品—」(第2・4展示室) 11月19日(火)～1月13日(月・祝) 第17回企画展「水城跡発掘調査100周年記念企画展「水城・大野城跡調査研究事始め」」(第2展示室) 1月5日(日)～2月16日(日)第18回企画展「五卿と志士—維新前夜の太宰府—」(第1展示室) 1月15日(水)～4月6日(日)第19回企画展「太田静六がみた福岡の建造物—太田静六資料展—」(第2展示室) パネル展：12月17日(火)～1月13日(月・祝)「国指定史跡 鞠智城跡」(仮称) (第4展示室) 3月4日(火)～6月15日(日)「保存科学成果展」(仮称) (文化情報広場) 古代体験：毎週土・日・祝日に第4展示室で実施(有料・無料あり、予約不要) | |
| 講座・イベント | 九歴講座：全12回 第2土曜日(定員160名、第9回～第12回は11月より受付開始、定員になり次第締切) 九歴ゼミ：1～3月「史料が語る大宰府の歴史」(定員30名要申込、11月より受付開始) 夜のギャラリートーク：10月16日(水)、12月18日(水)、1月15日(水)、2月19日(水) (事前申込不要) 特別展記念講演会： 10月20日(日)「豊臣秀吉と九州の城郭」千田嘉博氏(奈良大学教授) 11月3日(日・祝)「戦国武将と連歌」有川宜博氏(北九州市立自然史・歴史博物館名誉館員) 企画展記念講演会：12月7日(土)「水城・大野城跡調査研究事始め」小田富士雄氏(福岡大学名誉教授) イベント等：10月14日(月・祝) 開館40周年記念・移転開館3周年記念イベント 秋月林流抱え大筒、茶会、琴演奏他 (事前申込不要) | |
| 発掘調査 | 大宰府史跡調査(蔵司地区)・特別史跡水城跡・県内遺跡発掘調査 4月～3月 | |
| 求 善 提 資 料 館 | 常 設 展：求善提修験道の世界 企 画 展：秋季企画展「まなざし」茂木今朝生写真展 10月12日(土)～11月4日(月・祝) 早春企画展「おひなまつり」2014年2月1日(土)～3月23日(日) 市民歴史講座：10月19日(土)「求善提山 野外研修登山」棚田昭仁氏(豊前市教育委員会) 他(要申込) 11月9日(土)「修験道とエコロジー」恒遠俊輔氏(前求善提資料館長)(要申込) | |
| 甘 木 歴 史 資 料 館 | 企 画 展：10月8日(火)～12月1日(日) 第52回企画展「古から今も身近な生きものたち」 企画展講演会：第1回 10月12日(土)「民具と生き物たち」立平進氏(長崎国際大学特任教授)(要申込) 第2回 11月16日(土)「銅鏡文様を描かれた生き物たち」辻田淳一郎氏(九州大学准教授)(要申込) 新 春 企 画：平成26年1月5日(日)～1月19日(日)「今年の干支展」 春 季 節 展：平成26年3月18日(火)～4月6日(日)「あ！さくら展」※3月29日(土)「さくらコンサート」開催 | |
| 柳 川 古 文 書 館 | 企 画 展：10月29日(火)～2月2日(日)「三藩荘と瀬高荘」 2月5日(水)～4月6日(日)「松井家・立石家のおひなさま」 常 設 展：9月4日(水)～10月27日(日)「保存のかたち～史料を守り、伝える～」同時開催「新取史料展・十時家の古文書」 市史歴史講座：10月19日(土)柳川文化資料集成第3-3「柳川美術Ⅲ」の成果を分かりやすく解説 11月16日(土)柳川市史「史料編Ⅱ * 荘園史料 *」の成果を分かりやすく解説 歴史文化講演会：12月14日(土)企画展に関連して服部英雄氏(九州大学教授)・西谷正浩氏(福岡大学教授)が講演 ※歴史講座・歴史文化講演会は柳川市総合福祉センター「水の郷」2階視聴覚室にて開催(事前申込不要) | |

※各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページ並びに直接お問い合わせください



福岡県内の指定・登録文化財

小郡官衙遺跡群 小郡官衙遺跡 [国指定史跡]

小郡市小郡

小郡官衙遺跡は宝満川の右岸に位置し、掘立柱建物・築地塀・柵・溝などが発見されました。建物群は3時期の変遷があり、II期(7C末～8C前半)は大規模建物群がコ字形に配列し、III期(8C中～後半)は東西棟の建物群と南北長168mの区画溝で構成され、配列・規模から官衙(役所)とみられ、筑後国御原郡衙に比定されています。現在は、史跡公園として整備されており、アクセスは西鉄・甘木鉄道小郡駅から徒歩約5分です。



小郡官衙遺跡 (小郡市教育委員会提供)



九州歴史資料館 KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106
福岡県小郡市三沢5208-3

☎ 0942-75-9575
FAX 0942-75-7834

URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>

●公共交通機関

《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から徒歩約12分
《JR》鹿児島本線原田駅からタクシーで約5分

●自動車

《九州自動車道》筑紫野I.C.から鳥栖筑紫野道路経由で約15分
《大分自動車道》筑後小郡I.C.から国道500号線・県道88号線経由で約15分
《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分

※無料駐車場完備

開館時間 午前9時30分～午後4時30分
観覧料 一般200(150)円 高大生150(100)円
満65歳以上・中学生以下・障がい者(同伴介護者1名)無料
※土曜日は高校生も無料
※()内は団体料金(20名以上)
休館日 月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)

